



発行所 伊方町 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦 796-03 伊方局38-0211 編集課 伊方町 印刷所 豊 豊 八幡浜市松柏 22-0144

今月の紙面

二面... 気軽な施設「地域振興センター」 三面... 青春ネットワーク 四面... 国民健康保険者証の更新 五面... 平成三年 消防出初式 六面... 親と子の禁煙教室

笑顔で体操 健康と福祉のつどい

「幸せで明るい長寿社会をめざして」をテーマに、二月二十日四日町民会館で、「健康と福祉のつどい」が開催されました。

我が国は、いまや平均寿命八十年という世界最長寿国となり、高齢者問題をはじめ社会福祉の課題はますます多様化しています。町においても、六十五歳以上の高齢者が二十パーセントを超えている現状において、「健康と福祉のまちづくり」を推進しようと、この大会が開催されました。



リズムに合わせて健康体操(笑顔がとともさわやかです)



熱弁されるなべさん

にぎあう血圧測定コーナー

開かれ、家庭看護学級生、婦人、老人、民生委員の立場から在宅福祉サービスの在り方について、実践報告や提言がありました。この後、松本陽子先生による健康体操が行われ、参加者全員が軽快なリズムに合わせて体を動かし、健康体操を楽しみました。最後に、俳優のなべおさみさんによる「人生いろいろ」と題して特別講演が行われました。なべ先生は「色、目に見える物はないが、空、目に見えなくても存在している物、すなわち、心が一番だいじである」とお年寄りに対する真の接しかたについて話され、大会を閉会しました。

大会には三百八十名が参加。国民健康保険健康老人や健康優良高齢者の表彰、「在宅老人福祉サービスの将来展望」をテーマとしたシンポジウムが行われた。健康づくり推進実践活動者表彰 (個人) 宮脇良元・佐々木博・松坂正子(湊浦) (団体) 川永田老人会(川永田) 椿会(伊方) 若葉会(河内) ひまわり会(湊浦) 社会福祉事業功労者感謝状(個人) 辻直雄(川永田出身) 榎田佳明(久保) 小野道男(前四国電力(株)取締役) 守田真喜男(湊浦出身) 川上利彦(湊浦出身) 大本盛雄(久保出身) 岡崎文子(湊浦) 岩井正(二見) 故・栗田多津子(川永田) 西田恵明(湊浦) 佐々木弘栄(湊浦) 井田與志威(畑) 田縁健一郎(川永田出身) (団体) 伊方歌謡連合会

人権コーナー 「やさしさ」のたね 大空いっぱい とんでいけ 岡市裕治(伊方小四年) この標語は、今年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語部門で「協議会長賞」に選ばれたものです。

4月から 役場は第2・第4土曜日 休みになります 行政サービスを低下させないため、火災等緊急通報や死亡届、出生・婚姻届、火葬の手続き、水道関係など、緊急を要する届出や業務は、宿日直者が対応できる体制を整えます。また、その他生活に支障を来たすなど緊急を要する業務の場合は、宿日直者が速やかに担当に連絡のうえ処理することとしています。この土曜閉庁方式は、全土曜日が閉庁するのではなく、第二・第四土曜日が閉庁となるため、閉庁日が理解しづらい点があります。町では、広報紙やチラシなどで周知に努めてまいります。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。 先月の広報でも紹介しましたように、町では第二・第四土曜日閉庁方式の導入を検討してまいりました。その結果、今年の四月一日から毎月第二・第四土曜日を閉庁することといたしました。 この土曜閉庁方式は、国が平成元年一月一日から、また、県においても平成元年四月一日から導入されているもので、本町を含む八西地域一市五町では、今年四月一日から歩調を合わせて、同時に実施することになったものです。 町では、閉庁日における

- 第二・第四土曜日閉庁 本庁内の全課 水道課 町見支所 中央公民館 町見公民館 給食センター 保健センター 閉庁しない部署 各保育所 九町診療所

# 気軽な 施設

# 地域振興センター

先月の広報で紹介したように、地域振興の拠点となる地域振興センターが、一月二十一日完成しました。

町内の情報発信基地となるこの建物は、地上四階建・塔屋一階からなり、建築延面積二千三百四十一・四平方メートルあります。

主な機能としては、ニューメディアセンター機能、地場産業活性化促進機能、共同利用機能によって構成されています。また、(財)八西地域総合情報センターが進めているCATVシステムのスタジオなどもあり、CATVの基地としても使われます。

二階には制作室、ミーティングルーム、調整室などがあり、主に(財)八西地域総合情報センターが使用することになります。三階は情報化研修施設のCAI教室、パソコン教室、講義室。四階は地場産業活性化施設の地域相談室、農水産物加工品試作実習室、民芸品試作実習室、バイテク研

## 皆さんが主役の施設

町民の皆さんの情報交換の場、地場産業の活性化施設として、りっぱな施設が完成しました。しかし、町民の皆さんに広く活用していただき情報化、活性化の拠点として機能できるかどうかは、これからです。

### 【展示ホール】

「過去から未来へ」を総合テーマに、八西地域の地形模様や佐田岬半島の人々の暮らしを写真で紹介。「伊方杜氏の造る酒」の展示やニューメディア体験コーナーなど、郷土の歴史から最先端技術までが体験できます。

### 【三階】

二十台のパソコンをネットワークシステムで使用することができ、入門コースから応用コースまで各ワープロ教室やパソコン教室、情報処理技術者養成講座などが開催されます。受講を希望されます方は、地域振興センターまでお問い合わせください。

CAI教室 パソコンが十六台あります。個別教育指導として、各個人の進捗状況に合せた指導を行います。

## 施設の概要

施設の概要は、次のとおりです。

### 一階

【情報交換サロン】自由にくつろげる空間として、玄関の左側に応接用の椅子四十二個を配置しています。

### 二階

【ロビー】「伊方の四季」をテーマに、水ヶ浦小学校長・浅野美杉先生が描かれた、町内の風景十二点が展示されています。この作品は、昨年の七月に町人権擁護推進協議会が作成、皆さんに配布した「人権と生活の暦」に使われた絵の原画になります。

【調整室】町内に設置されたアンテナで受信した映像をこの室に集



空に伸びる情報発信基地



情報交換サロン

【調整室】町内に設置されたアンテナで受信した映像をこの室に集

【ソフトウェアライブラリー室】現在、市販のソフトウェア及び図書の収集を行い、受講生などに貸出します。



講義室



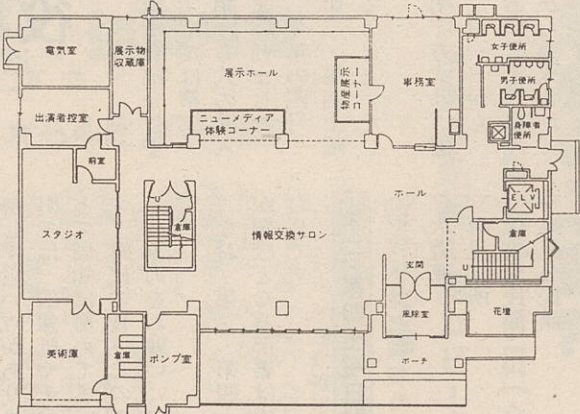
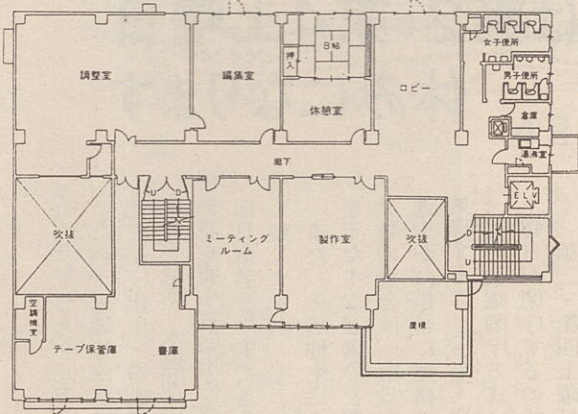
CAI教室



2階ロビー(伊方の四季を展示)

## 2階

## 1階



### 建物の概要

名称	地域振興センター
場所	伊方町川永田甲1534番地1
敷地面積	5,265㎡
構造	鉄筋コンクリート造4階建、一部塔屋
建築面積	626.96㎡
床面積	2,341.40㎡
内訳	1階 608.99㎡
	2階 539.38㎡
	3階 607.54㎡
	4階 539.03㎡
	塔屋 46.46㎡

### 工事の概要

造成工事	昭和63年度完成
排水工事	平成元年度完成
建物工事	平成2年2月 2日 着工 平成3年1月21日 完成
舗装工事	平成3年2月 7日 着工 平成3年3月20日 完成
総事業費	6億6421万円
内訳	造成工事 5574万円
	排水工事 1761万円
	建物工事 4億6569万円
	舗装工事 834万円
	測量設計監理料 2380万円
	用地費 1396万円
	備品費 7604万円
	その他 303万円

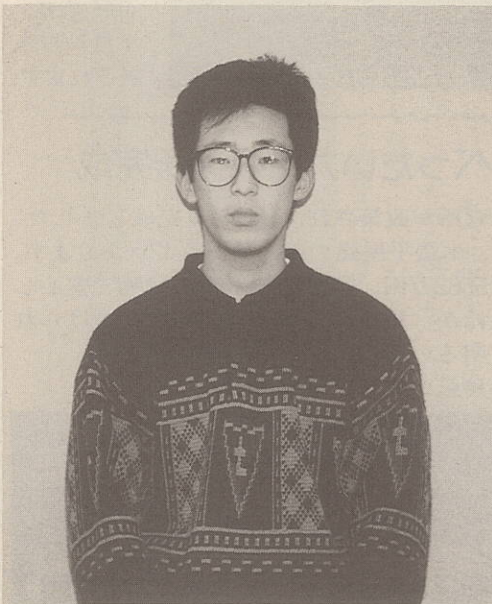
# 青春 NETWORK

⑩  
 松田 誠さん  
 (湊浦=20歳)

伊方発電所で放射線管理の仕事を行っている、(株)原子力代行に勤務。普段は無口でおとなしい性格だが、スポーツマンで集中力が優れ、高校時代には県総体で優勝、四国大会三位など輝かしい女性。

## ホップ・ステップ・ジャンプ

今回の「青春・ネットワーク」は、昨年十一月に国立競技場で行なわれた第三十八回全国青年大会に県代表として出場。三段跳びで五位入賞と活躍した松田誠さん(二十歳)を紹介しよう。



「三段跳びは個人競技なので、自分の甘えや気持ちの緩みがそのまま記録で現れました。社会に出て自分自身で責任を持つという点では何をやるにも一緒だと感じました」と話す。趣味は愛車スカイラインでのドライブ。好きな女性のタイプは明るく活発で、それでいてやさしさを持つ女性。

「みんなに信頼されるように、農業改良普及所伊方駐在員が駐在。花、ハウス栽培など農業に関する相談、指導にあたります。」

# 3.2.1 ..... ハイ・スタート!

## スタジオ・調整室が完成

### 開局は五月

(財)八西地域総合情報センターが昨年七月から進めていたCATV工事が三月二十日完成しました。現在、代理店の方々が加入予約された各戸を訪ね、加入契約や調査を行っております。



テレビ局みたいな調整室とスタジオ

「開局は五月」といいたため、全てのお宅の引込工事を完了することが困難な状況です。情報センターでは、できるだけ早く引込工事を完了するよう努力いたします。皆さんのご理解をお願いいたします。

町内で加入予約された方は、三月十九日現在千二百八十七件。大変たくさんの加入予約を

### 四階

(地域相談室)  
 産業新技術・物産開発などに関する図書資料を備えるほか、



(民芸品試作実習室)  
 民芸品に関する学習や地場産品を利用した民芸品の試作、実習などに使用できます。木工ろくろ、卓上帯鋸盤、集塵機、電気チェーンソー、電動木彫機等、数多くの機器材が備えられています。

(バイオテック研究室)  
 柑橘類に継ぐ主力作物を模索するため、バイオテクノロジを導入し、かすみ草を出発点に新作作物栽培の可能性を研究します。

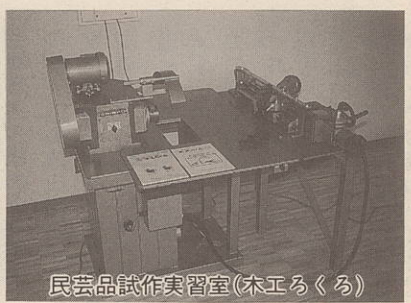
(作物環境分析室)  
 これからの農業にとって大切な土壌や樹体の構成、成分を科学的に把握する研究をします。



作物環境分析室

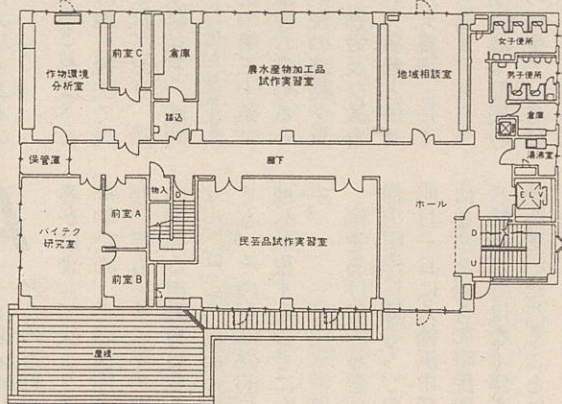


農水産物加工品試作実習室

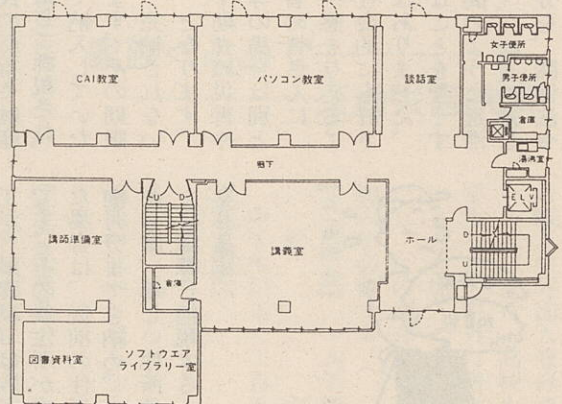


民芸品試作実習室(木工ろくろ)

### 4階



### 3階



### みどりの日 (4月29日)



### みどりの週間 (4月23~29日)

四月二十九日と決められた国民の祝日です。自然に親しみ、その恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむという日です。「みどりの週間」は、この考えを一層深めるために設けられたもので、四月二十三〜二十九日の一週間と定められています。気候のよいこの時期、あなたも、森林浴を楽しんでみませんか。

日本は、緑豊かな自然をもつ国です。特に四月から五月にかけては、新緑が美しい季節。春の陽光や暖かさも手伝い、生命の息吹を感じます。ところでみなさんは、「みどりの日」「みどりの週間」をご存じですか。「みどりの日」は、平成元年に「国民の祝日に関する法律」の一部を改正する法律「により制定され、

# グリーンからクリーム色へ



## 国民健康保険者証の更新

四月一日から被保険者証が変わります。国民健康保険に加入されている方は、現在使用されている被保険者証の有効期限が、今年の三月三十一日までとなり、更新することになります。新しい被保険者証は、クリーム色になります。更新は、下記の日程で行いますので、古い被保険者証(グリーン色)と印鑑をご持参の上、各指定場所までおいでください。

**国保と保険税**

私たちは、いつ病気やケガに襲われるかわかりません。そんな時、お医者さんにかかれなかったり、医療費が高額になって経済的な苦境に立たされたら大変です。国保は、そのようなことにならないよう、加入者がお金を出し合い、助け合って健康で明るい家庭をつくるという大切な制度です。

また、国保の健全な運営を守るためには、大切な財源である保険税を必ず納期限内に納めていただくことが必要です。

**保険税を滞納すると**

保険税を納期までに納めていない世帯には、被保険者証ではなく被保険者資格証明書が交付されます。

**納税済世帯には**

保険税をきちんと納めている世帯には、被保険者証が交付されます。

この資格証明書が交付される場合、病院等で診療を受けるとき、窓口で医療費の全額を支払わなければなりません。その後、医療費の明細書等を添付して町へ申請し、七割分の払い戻しを受けることになります。

ただし、この払い戻しを受ける場合、保険税の滞納分を納めるまで、払い戻しが一時差し止められます。(特定療養費、療養費、高額療養費、助産費、葬祭費なども含まれます。)

その後、滞納していた保険税が完納されると、改めて被保険者証が交付されます。

### 平成3年度国民健康保険被保険者証更新日程

地区名	更新月日	時間	場所
大浜	3月29日	9:00~10:30	大浜集会所
中之浜		10:50~11:50	中之浜集会所
仁田之浜		13:30~14:30	仁田之浜集会所
河内		15:00~16:00	河内集会所
湊浦1	3月30日	9:00~11:30	役場 住民課
湊浦2			
小中浦			
伊方越	3月29日	9:00~10:00	伊方越集会所
亀浦		10:30~11:30	亀浦集会所
中浦	3月29日	9:00~10:00	中浦集会所
川永田1		10:10~11:30	川永田コミュニティセンター
川永田2		13:30~14:30	新川会館
豊之浦	3月30日	9:00~16:30	豊之浦集会所
奥向畑			
須賀久	3月30日	9:00~12:00	町見支所
西見			
二加田	4月1日	9:00~10:00	二見集会所
周浦		10:10~11:30	加周集会所
田之敷		13:30~14:30	田之浦集会所
古屋敷		9:00~10:00	古屋敷集会所
大成	4月1日	9:00~10:00	大成集会所
成津			
大鳥	4月1日	10:30~11:30	大鳥集会所

ただし、年度途中から保険税が滞納になると、交付している被保険者証を返還していただき、改めて資格証明書が交付されます。もし返還を求められたにもかかわらず返還をしないという場合は、それ以後の保険証による診療が受けられないばかりでなく、罰せられることにもなります。

**④の被保険者証の交付申請は**

▽現在学生であり、④の被保険者証を交付されており、四月一日以降も引き続き④の被保険者証が必要な方や、四月一日以降学生になり④の被保険者証が必要な方は、四月一日以降学生になり④の被保険者証が必要な方は、在学証明書等新しく学生になる方で入学前に手続きをされる方は、学校発行の合格証明書でも可を提出していただきます。

▽現在、遠隔地被保険者証を交付されており、四月一日以降も引き続き必要な方も、改めて申請する必要があります。

この様な場合には、町に所定の申請書がありますので、ご利用ください。また、被保険者証の更新などについての問い合わせは、住民課保健医療係までお尋ねください。

## 消防ポンプ積載車を3台更新

消防小型動力ポンプ積載車が3台更新され、2月28日入魂式を行いました。

新しい積載車は、1500cc。積載能力が750kgで、ポンプの上げ下ろしに便利なポンプ収納レールなどが装備され、火災時に迅速に対応できます。

3台は、第7分団(中浦)、第8分団(川永田)、第11分団(亀浦)に配備されました。



入魂式

## 九町小教職員住宅完成

九町小学校横に、九町小学校教職員住宅が2月20日完成しました。

建物は、鉄筋コンクリート2階建。延面積274.18㎡あります。工事費は、4212万円。住宅のタイプは、3DKが2戸、4DKと2DKで、家族構成によって選べる計4戸です。4月から入居されます。



小学校教職員住宅

## 平べったい九町保育所完成

九町保育所が改築され、3月8日完成しました。建物は、木造平屋建てで床面積314.42㎡あります。工事費は5562万円。理想的な平屋の建物で安心して遊べるほか、屋根には明り取りが取り付けられており、明るい室内になっています。

11日に移転が終了、保育を始めています。



木造のモダンな建物。園庭も広くなりました。

## ※国民年金の融資施設

九町保育所は事業費のうち、3900万円を国民年金の還元融資を受けています。このように国民年金は、身の回りの施設整備などにも役立っています。

町のわだいの話



⑧

**A Q** 税金が滞納になると、財産の差し押さえもあるのは本当ですか。

**A Q** 住所が変わった場合の町民税及び国民健康保険税はどこで納めるのですか。

**A Q** 町民税は、一月一日現在の住所がどこの市町村にあるかによって決まります。

これは地方税法で規定されており、滞納処分とも言われております。日本国憲法の第三十条には「国民は法律の定めるところにより納税の義務を負ふ」とあり、勤労及び教育を受ける権利・義務と併せて、国民の三大義務として定められています。地方公共団体は、町民の皆さんからの税金で、各種事業やサービス事務が処理されています。税は、町民の所得や財産所有などに応じて課税され、納期を決めて納入していただいております。その期限を過ぎても、完納されない場合は「滞納」となります。滞納は、予期せぬ災害や不慮の事故等の場合は別として、納税者の皆さんに、矛盾や不公平感を与えることになり、社会的にも許されることではありません。このようなことをなくすため、ご質問のように延滞利息を含めて、「財産の差し押さえ」処分を、関係法令

に基づき執行することができるとです。税金は、納期ごとに毎月納付するのが建前ですが、有利な前納制度や口座引き落としの方法もあります。うっかり納め忘れて、滞納にならないよう納税にご協力ください。

次に、国民健康保険税ですが、賦課期日は四月一日です。その後住所が変わった場合は、従前の住所地で前月分までを納め、当月分からは、新しい住所地で新たに賦課し納税することになります。



# 民話と伝説

捕作/岡村豊 挿絵/山本一路(湊浦)

76

私たちの住んでいる町では、今ようやくと農繁期を終えようとしてます。

みかん農家ではな、正月もゆっくりよう休まずと、気がついてみるともう三月で弥生、やよいの語源は、草木の弥生、漸々成長、柳糸引などと、植物の成長にも関係があるのではなからうか。

また、もう一つには、子供

## 米庵之書と亀本好恵

らがそれぞれの学業を終えて、母校を巣立って行くが三月よな。

こ二見小学校には、江戸後期の書家で「市河米庵」という人の書きなはった掛け軸があるがよ。

校長室の壁に飾られた掛け軸は、今も連綿としてみんなの勉学を見守ってくれとります。

に縁なし。また、楽しいことが適えば何よりも面白いが、

閑暇の身になりたくも是には天分として縁がない。と、まあここの意味の解釈でええのかな。

私がPTAの役をさしてもらっていた時に、学校の方では、子供の教育の為に何か書画があつたらなあ。という事から、中山町の叔父さんに頼んで、母校の為ならとて、二見小学校に寄贈して下さったのが、あの掛け軸ですのよ。

叔父さんは、書画、骨董品の収集家でもあったので、数ある中から無作為に選んで貰って帰ったもので、その当時は、作品の値打ちや有名な書家が書いたとも知らずにいたのですが、やっと表装されて多くの

人々にその真価が認められて、大いに嬉しく思います。

叔父の亀本好恵氏は、古屋敷の川田早太氏の三男として明治二十八年(一八九五)に生まれなはってな。

温厚な人柄が自然に感じられるような人間で、大変な努力家でもありました。

何事にも、粘り強く、辛抱強く、独学で学問に打ち込む精神の人でした。

また達筆でええ字を書く人じやつと。

亀本氏は、杜氏として中山町の造酒屋につとめるうちに、人物を見込まれて、大正八年(一九一九)に亀本家の養子となり、家業に励げんだ人です。

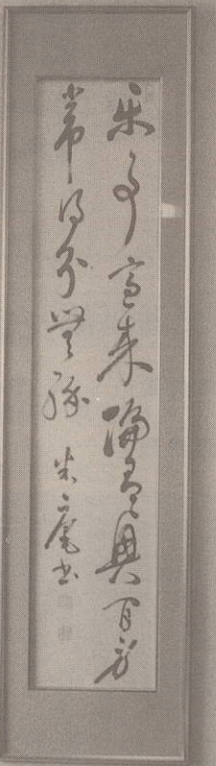
その間、家業はもとより

勤勉な亀本好恵氏の言葉を引用すると、これからの長寿社会を支える子供や若者は、「働き過ぎ」でなしに「働き好き」にすることだ。

同じ働くなら、子供が、働くことを「労働」と思ふか「朗働」と感ずるかは、親の影響が大きい。

働くことは、端業(はたらく)でもある。世のため人のために「朗働」できる子供や若者を育てていかんと、町づくりにならんと口癖のようにいいよつたなあ。

協力者：樫尾象士氏(加周)



## 消防出初式 盛大に

祝伊方町消防出初式  
まず消そう火への鈍感 無関心

町消防団(三好章一団長)恒例の出初式が、三月三日に伊方中学校グラウンドで開催され、町内十九分団から三百二十人の消防団員、四国電力伊方発電所消防隊十八人が勢ぞろい、規律正しい勇姿を披露しました。

当日は、人員報告、服装や機械器具の点検に続いて、選抜分団による小隊訓練、伊方発電所消防隊による消化訓練や第二分署による救助隊訓練のあと、優秀団員や無火災分団の表彰、来賓多数の祝辞をいただきました。

- この日表彰された皆さんは次のとおりです。
- ▽日本消防協会長表彰 特別表彰 三好章一(湊浦)
  - ▽ 菊池孝平(西)
  - ▽ 波戸福一郎(大浜)
  - ▽ 波戸福一郎(大浜)
  - ▽ 愛媛県知事表彰 表彰旗 伊方町消防団
  - ▽ 功績章 上田俊光(西)
  - ▽ 兵頭正司(湊浦)
  - ▽ 宮本 厚(湊浦)
  - ▽ 愛媛県消防協会長表彰 功績章 西内年和(西)
  - ▽ 勤続章 上田広幸(西)
  - ▽ 沼正一(亀浦)
  - ▽ 池田義弘(奥)
  - ▽ 山口保清(二見)
  - ▽ 山口正司(湊浦)
  - ▽ 吉川保吉(川永田)
  - ▽ 川内邦彦(向)
  - ▽ 渡辺喜文(須賀)
  - ▽ 規程章 堀江和久(久保)
  - ▽ 三好久隆(豊之浦)
  - ▽ 八西消防団連合会長表彰 規程章 堀内保二(向)
  - ▽ 藤本茂治(大浜)
  - ▽ 渡辺喜久夫(仁田之浜)
  - ▽ 山口吉人(河内)
  - ▽ 加藤由紀男(湊浦)
  - ▽ 井上三郎(小中浦)
  - ▽ 矢野順一郎(中浦)
  - ▽ 福田栄次郎(川永田)
  - ▽ 門田元伊方(越)
  - ▽ 清家稔(亀浦)
  - ▽ 渡辺正広(奥)
  - ▽ 山口辰喜(畑)
  - ▽ 今城義郎(加周)
  - ▽ 小島初(大成)
  - ▽ 無火災分団表彰 竿頭級 第三分団(二十三年間)
  - ▽ 第五分団(四年間)
  - ▽ 第八分団(十二年間)
  - ▽ 第十五分団(十二年間)
  - ▽ 町長表彰 寺谷哲也(仁田之浜)
  - ▽ 吉平
  - 和弘・木戸佐八郎(大浜)
  - 門田泰藏(中之浜)
  - 徳弘鶴夫(仁田之浜)
  - 松田祐紀(河内)
  - 山下日出澄・城満也(湊浦)
  - 林正徳・田所幸喜(中浦)
  - 由中信安・阿部俊蔵(川永田)
  - 中川崇・高石金次(豊之浦)
  - 前田昌彦(伊方越)
  - 田丸与七郎(奥)
  - 堀内隆二(浪下直也(向))
  - 志賀一重(谷口良二(田之浦))
  - ▽ 団員家族内助の功感謝状 愛媛県消防協会長感謝状 三好昌子(湊浦)
  - ▽ 八西消防団連合会長感謝状 吉本ミツル(小中浦)
  - ▽ 町長感謝状 清家修(亀浦)
  - 中田照喜(中之浜)

### はいつて安心!

家族ぐるみで 交通災害共済

今年も交通災害共済の加入手続き時期になりました。いつ、どこで遭うかわからない交通事故に備え、家族ぐるみで加入しましょう。

すでに、小中学生はそれぞれの学校を通じて加入推進を依頼しました。一般のかたは役場総務課と町見支所へ受付けを始めています。

また、三月下旬から町内を巡回して加入を呼びかけることにしています。日時や場所などは広報無線放送と区長さんを通じてお知らせいたします。

【加入資格】 町内に居住し、住民基本台帳及び外国人登録されている人。また、高校生や大学生などで町外に居住している人も加入できます。ただし、この場合は世帯主の加入が必要です。

【共済掛金】 一人年額 一般 六百元 中学生以下 二百五十円

【共済期間】 平成三年四月一日から平成四年三月三十一日まで。期間中はいつでも加入できます。

【共済見舞金】 災害見舞金は左表のとおりです。加入者であれば日本国内のどこで発生した交通事故でも対象になります。ただし、飲酒運転などの特別な場合には見舞金が支給されないことがあります。

【問い合わせ先】 手続きや災害見舞金などについては役場総務課文書広報係までお尋ねください。

【保育園児】 今年も保育園児は全員町費で加入することになっていますので、手続きの必要はありません。

等級	災害の程度	金額
1	死亡	100万円
2	医師の治療実日数360日以上の傷害	20万円
3	医師の治療実日数180日以上360日未満の傷害	17万5千円
4	医師の治療実日数96日以上180日未満の傷害	15万円
5	医師の治療実日数80日以上96日未満の傷害	12万5千円
6	医師の治療実日数64日以上80日未満の傷害	10万円
7	医師の治療実日数48日以上64日未満の傷害	7万5千円
8	医師の治療実日数32日以上48日未満の傷害	5万円
9	医師の治療実日数16日以上32日未満の傷害	3万円
10	医師の治療実日数7日以上16日未満の傷害	1万円

### 親子の禁煙教育

## 好奇心で手を出す前に

最近、成人の喫煙人口が減る傾向にあるのに、未成年者の喫煙は増えていると言われています。この傾向に歯止めをかけるため、たばこの害と健康について親子で話し合っはいかかですか。

未成年者に喫煙の動機を尋ねると、多くの人が「好奇心」を挙げます。そこで、好奇心を育てて手を出す前に、たばこの害を子供に理解させることが禁煙教育の大事なところ。

### 脳の働きが低下

わたしたちは呼吸をして、空気中の酸素を体内に取り入れます。酸素は血液中のヘモグロビンという成分と結びついて、脳をはじめ体のすみずみ

欠状態が起こるとともに、勉強や運動に必要なビタミンCが大量に消費されます。こうしたことが原因となり、たばこを吸うと、疲れやすくなり、体のあちこちで酸欠状態が起こるとともに、勉強や運動に必要なビタミンCが大量に消費されます。

健康に不可欠なきれいな空気

閉めきった部屋でたばこを吸うと、その煙から出る一酸化炭素やそのほかの有害物質が空気を汚します。たばこの煙がたちこめる部屋にいますと、のどや目が痛くなるのは、このためです。

また、気がつかない間に、肺や心臓など、からだ全体に悪い影響が出てきます。新鮮で、きれいな空気は人間の健康にとって、とても大切なものです。そのためにも窓はときどき開けて空気を入れ換えるようにしましょう。



### 町内の交通事故

(3月1日現在)

発生件数……………10件  
(2月……5件)  
負傷者数……………8人  
(2月……4人)

新入学期を迎えるこの時期、新一年生が通学を始めます。子供の交通事故の原因の大半は「飛び出し」と「車の直前直後の横断」によるものです。ドライバーの皆さん「子供は飛び出してくるもの」との認識を持ち、子供を見たら特に注意し、通学路や学校周辺では、より慎重な運転に心がけましょう。伊方・町見駐在所

### まごころ銀行

湊浦の林大介さんから、故林満繁氏(元伊方町長)の香典返しとして五十万円。平成二年度の区長会(梶原一孝会長)から、会費の一部三万円。

### お礼

それぞれご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

兵庫県宝塚市亀井町三番一四号にお住いの根来保彦さん(西出身)から一万円。兵庫県伊丹市宮ノ前二一四一三二にお住いの端豊さん(伊方出身)から一万円。

それぞれ広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

### 歳時記

## サクラ前線

サクラは日本の春を代表する花です。しかし、日本列島は南北に長いので、その開花時期は場所によってかなり違ってきます。

この時期、サクラの開花した地区と開花していない地区の境に線を引くと、天気図の前線のようになります。これを、通称「サクラ前線」といっています。

サクラの開花の観測は、全国120か所の気象台や観測所でやっています。観測するサクラの種類はソメイヨシノが中心ですが、沖縄はヒガンザクラ、北海道はチシマザクラとエゾザクラが対象です。平均開花時期は、沖縄県・名護でヒガンザクラが元日ごろ、それから北上を続け、4~5月の大型連休ごろには、津軽海峡を渡って北海道に達します。一番遅いのは根室で、5月20日ごろにチシマザクラが開花します。

日本列島の縦断におよそ半年もかかるのです。こうした植物による季節観測は、ほかの植物でも行っています。サクラのほかには、「紅葉前線」がよく知られています。

最近、話題になっているのが、高速道路のサクラ前線です。全国の高速道路のサービスエリアやパーキングエリアに、「高速道路のサクラ前線」として、合計18万本のサクラの木が植えられています。ドライブ中にサクラが咲いていたり、咲いていなかったり……サクラ前線の進み具合が分かっておもしろいものです。

春は、みどりが萌えたつ季節でもあります。4月29日の「みどりの日」を最終日にした一週間は、「みどりの週間」で、各地でみどり豊かな国土を守り育てる行事が行われます。



### この人 だあり水



クワで畑の草取りをされています。この人だあり水。

### 人の動き

8,155人 (男3,978人(+12人))  
(+16人) (女4,177人(+4人))

### えんむすび

平成3年1月1日  
1月31日  
氏名 本籍地

### お誕生おめでとう

よい子に育ってください

平成3年1月1日  
1月31日  
保護者 続柄 児名

### おくやみ

平成3年1月1日  
1月31日  
死亡者 年齢 住所

### 学生も全員加入に

### 国民年金

これまで大学生・専門学校の生徒などは、二十歳以上であっても国民年金への加入は任意でしたが、平成三年四月からは、必ず加入しなければならぬことになりました。これにより、学生の方が事故や病気で万一障害者になった場合でも障害基礎年金が受けられます。また、二十歳から六十歳までの四十年間加入することにより、満額の老齢基礎年金が受けられることとなります。

### 保険料が変わります

国民年金の保険料が、四月から月額九千円(現行八千円)になります。人生八十年時代となり高齢化社会が進む中で、将来も安定した年金制度にしていくため、ご理解とご協力をお願いします。

### 平成三年 定期交通事故相談

県では、毎月県下十二カ所で交通事故相談を行っています。交通事故でお悩みの方はご相談ください。

場所 八幡浜地方局  
日程 毎月八日・二十五日  
(土・日曜日及び祝日はその翌日)  
場所 午前十時から午後三時 時間

### 編集室

「半どん」これはオラ だけの土曜日が半どん になりまして。 役場は第二・第四土 ンク語で日曜日の意味 曜日が休みになります。 「ドンク」から、半日 ご協力をお願いします。

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

ふれあい

いかた

教育だより

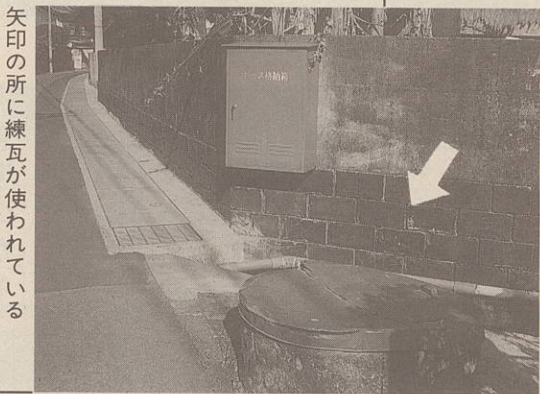
〔発行〕  
伊方町教育委員会  
〔編集〕  
社会教育課  
〔印刷〕  
豊 豫 社

ご存じですか

佐島練瓦

明治二十六年（一八九三）から大正九年（一九二〇）まで、佐島に製練所があった。その製練所（かなくそ）で作られたものが練瓦です。明治三十七年（一九〇三）に新築された伊方小学校の北側の塀にこの練瓦が使われ、今でも多く残っています。当時は、土建資材として

幅広く利用され、時代を象徴した民俗文化財といえます。一個の重さは、なんと四十一錠（一貫百匁）もありました。また、女子製練所でも生産されており、町見地区では女子練瓦といわれています。



矢印の所に練瓦が使われている

宇都宮校長から一人ひとりに卒業証書が手渡された



思い出胸に学び舎を巣立つ

中学校で卒業式

三月十六日は、県下百六十校の公立中学校で一斉に卒業式が行われ、二万三千人余りが友や恩師に別れを告げました。本町でも百十一人（伊方中七十八人、町見中四十一人）が三年間の思い出を胸に学び舎をあとにしました。

伊方中学校では、男子三十五人、女子三十五人の計七十人が卒業。宇都宮校長から一人ひとりに卒業証書が手渡されたあと、「卒業は別れであるとともに新しい出発点、これからは与えてもらうのではなく生きる知恵を学びとって欲しい」と式辞が述べられました。

また、在校生の送辞にこたえて卒業生代表の梶田敦子さんが、三年間の学校生活を振り返りながら、在校生への期待と先生方への感謝の気持ちを述べました。蛍の光が流れる中、卒業生らは在校生や父母に見送られて会場をあとにしました。中学校の卒業は、九年間の義務教育の終りであるとともに新たな出発点でもあり、期待と不安を胸に新たな一歩を踏み出すのです。

人命救助の中学生ら 九人を善行表彰

- 三月七日、中央公民館で青少年補導会連絡協議会が開かれ、青少年補導員、学校関係者らが出席して春休み中の生活指導を中心に話し合いが行われました。
- 席上、例年行っている善行表彰者の審査も行われ、人命救助の堀内君ら次の九人を表彰することにしました。
- 水ヶ浦小学校六年 水本文教
- 伊方小学校六年 泉 里香
- 有寿来小学校六年 田中孝明
- 豊之浦小学校六年 河野理香
- 九町小学校六年 井上咲子
- 二見小学校六年 中村耕司
- 伊方中学校三年 坂本 恒
- 町見中学校一年 堀内裕次郎
- 町見中学校一年 池田 心

第三回 親睦・愛媛県ペタンク大会

愛媛県ペタンク連盟は、ペタンクの輪を広げ普及発展させ、地域スポーツ・レクリエーションの発展を目標に次のとおり大会を開催します。

とき/平成三年三月三十一日(日) 一三時〇〇分現地集合  
ところ/松山市勝岡町一六三 四国電力松山発電所講内テニスコート東広場  
試合/試合形式はトリブルスなど  
表彰/決勝トーナメントの一位から三位、参加賞他  
参加料/一チーム&家族 一五〇〇円  
受付/発電所講内正門「守衛室」に申出て「受付簿」に記入の上入場  
駐車場/講内テニスコート東広場付近  
その他/主催者はケガ等の応急処置はしますが、一切の責任は負いません。  
申込み/伊方町体育協会事務局(町見支所内) 岩見勝義まで ☎三九一〇二二

洋ラン栽培の知識を学ぶ



熱心に指導をうける参加者

最近、玄関や庭先で洋ランを作っておられる家庭を良く見かけます。「洋ランを買ったが、その育て方がわからない」という声を聞き、三月十二日、中浦公民館で洋ラン作り教室が開かれました。講師に、八幡浜農業改良普及所の大西課長さんを招いて、洋ランの育て方について指導を受けました。参加したのは、主婦やお年寄りら二十七人で、大西課長さんの話に耳を傾け、熱心にメモをとる姿が見られました。洋ラン作りの愛好家にとっては、非常に意義あるものでした。

保険で安心 明るくスポーツ

900万人の保険

スポーツ安全保険

申込み・問い合わせは社会教育課まで

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

4月のテーマ “夢を大きく育てよう”

- 〔実践方法〕
- 入学、進学、就職を家族そろって祝い、明るい希望を持たせよう
  - 就職する子供と職場における心がまえについて話し合おう

# 口碑と立ちばなし ⑬

(加 周)

## 古田利三市翁顕彰碑

加周へ行く道路路端に、古田利三市翁の碑が、宇和海を眺めるように立っている。

利三市翁は、明治三二年(一八九八)丸野弥太郎の第五子として瀬戸町志津に生まる。資性温和にして常に温顔を以て人に接す。

満一歳の時、古田家の養子となる。養家は零細なる磯立て漁業にて、富裕ならず、故に幼齡六歳の頃より家業に従い養父を扶く。

然るに養母健ならず、養父又翁が八歳の時失明す。苦節を加ふることかくの如

し、爾來盲父と共に毫も揺がず、その秀れた漁法と共にこの道一筋に七十有余年の風雪を凌ぎ、今日尚鑿々たり。

まことに沿岸漁民の意気を示すものといふべし。余人の範とするに足る。

翁は信仰の人なり。石神地蔵尊の行事を復活する等善男善女の先導となり、之等を悦ばしめ今日又区民の要望に応へて集会所(一部消防倉庫)の新築落成を見る。

翁は子福者にして子等みな孝養なり、世人その孝養に感嘆す。就中、亀彦、乙彦、鶴彦の三名は天賦の才と共に協力一致して製菓の業を興して大を為し、父子共に郷党に竭すること極めて多大なり。



顧ふに之等の因は、翁等夫妻(夫人たけ子)の徳性、庭訓の然らしむる処なり。

茲に有志相図り翁が生涯の友宇和海の景色をのぞみて地をえらび碑を立て、その徳に報ゆる所以とす。

昭和四六年一月三日

文化の日 建

このように、顕彰碑の横に書かれてあった。

私たち人間は、ともすると過去をないがしろにする傾向がある。忙しい現代社会においても、いちいちこだわっていたりする余裕な

どないのかもしれない。

たしかに現代社会の進歩、発展のスピードは想像を絶するほどのものがある。

そして過去にこだわること、未来を見ずえている人のほうが、何かにつけて評価されるという現実もある。

でも、未来に向けて自信をもって進むには、自分自身の原点とでもいふべきものをしっかりと固めておく必要があると思ふ。

「照脚」原点はここに。そして、先人の歩んだ道を疎かにしてはならない。

# もうすぐ1年生

## 入学生が待ち遠しい

入学式まであと何日……?。子供たちは指折り数え、学校生活への夢を膨ませていくことと思います。

四月八日には、町内の小中学校で入学生が行われます。小学校に八十五人、中学校に九十九人が入学し、新一年生となります。

初めての学校生活を楽しみに行っている小学校入学児童を紹介します。

- 【水ヶ浦小学校】(全校児童 56人)
- 谷口彰浩 大 浜  
清水俊勝  
中藤雅仁  
明神加奈恵  
大黒麻奈  
明神麻視  
新屋敷なぎさ  
山本和香  
中田和香  
門田裕子  
加藤美貴
- 増本幸子 河内  
山神健太 湊  
上枝真也  
中田浩樹  
野村尚弘  
吉岡泰知  
梶田義人  
林俊成  
細川拓弥  
石原明博  
濱田真吾  
越智雅宏  
前田直智  
井上裕智  
守田祐子  
天徳宏香  
崎山麻衣  
三好美咲  
清水裕二  
清隆史  
井上芳樹  
山下久梓

- 【有寿来小学校】(全校児童 16人)
- 兵頭弘康 伊方越  
大沼佐和子 亀浦  
清家千束
- 以上3人
- 【豊之浦小学校】(全校児童 41人)
- 高田純次 豊之浦  
中川大樹  
辻本拓郎  
坂本紀郎  
渡辺雅教  
中田雅奈  
三好里奈
- 以上7人
- 【九町小学校】(全校児童 99人)
- 渡辺啓太郎 奥

- 【二見小学校】(全校児童 52人)
- 山本珠恵 二見
- 岩見大志 奥  
村居智香 向  
大澤健太 畑  
二宮裕 畑  
眞田友恵  
菊池光城 須賀  
井上恵一郎 久保  
松田裕久  
井上恵美子  
菊池綾
- 以上11人
- 山岡謙太郎 加周  
古田奈美  
高橋幸佑 田之浦  
山本雄大  
岡村浩美  
古田良美  
西山真希  
高岳那美 大津  
岩井佳帆  
林佳帆
- 以上11人

※各学校の児童数は平成三年度の子定数です。

### 起源のなぞ ⑫

#### もち(餅)の由来

日本ではじめて米がつくられたころ、そのほとんどはモチ米であった。獲物を追って遠出する古代人は、モチ米を蒸したものを固めた弁当を持って行った。持たてあるく飯だから持ち飯、のちに終わりの飯がとれ、上におがついてもちになったという。

また、もちは女房詞でかちんとといったが、古くは搗くことをかちまたはかつと



光文書院  
「起源のなぞ」より

- 柿を剥ぐ心テレビに奪はれて 城岡さかえ
- 綿毛物繕ひ初めし冬用意 二宮あきえ
- 冬口受け優しきお顔八地藏 渡辺なみえ
- 朝風田や石はびつしり露に濡れ 菊池あつ子
- 往き便り蜜柑撰る手も良く動く 岩見あい子

## 蘭展示会の「案内

とき/4月1日(月)〜5日(金)  
ところ/中央公民館1階ロビー  
《伊方町盆栽趣味の会》

4月は あいさつ運動 強調月間

4月1日から4月30日まで

伊方町生活運動推進協議会では、小中学校の入学、進級に合わせ、四月を「あいさつ運動強調月間」として運動を展開します。

期間中は、広報無線による広報、ワッペンを着用(保育所園児・職員、小中学校児童生徒・教職員、役場職員)などが行われます。また、三月中にあいさつ標語のピラを各家庭に配布します。

あいさつで、明るい家庭、地域づくりに努めましょう。

3・4月の行事

3月26日 社教・公運審合同会議 (中公)

31日 メロディーパレーボール大会 (町体)

4月中旬 伊方地区自治公館長・主事会 (中公)

4月下旬 伊方地区子供会球技大会 (伊中)